

Windows®ネットワーク (SMB)環境での設定

3章

| | | |
|-------|-----------------------|----|
| 3.1 | 概要 | 46 |
| 3.1.1 | システム構成について | 46 |
| 3.1.2 | 設定の流れ | 46 |
| 3.2 | プリンター側の設定(NetBEUI) | 48 |
| 3.2.1 | ポートを起動する | 48 |
| 3.2.2 | プロトコルを設定する | 49 |
| 3.2.3 | その他の設定項目について | 50 |
| 3.3 | プリンター側の設定(TCP/IP) | 51 |
| 3.3.1 | IPアドレスを設定する | 51 |
| 3.3.2 | ポートを起動する | 51 |
| 3.3.3 | プロトコルを設定する | 53 |
| 3.3.4 | その他の設定項目について | 54 |
| 3.4 | SMBの設定の変更 | 55 |
| 3.4.1 | Windows®ネットワーク経由の変更方法 | 55 |
| 3.5 | プリンタードライバーの自動ダウンロード | 60 |
| 3.5.1 | 自動ダウンロードの準備 | 60 |
| 3.5.2 | プリンタードライバーを自動ダウンロードする | 62 |

3.1 概要

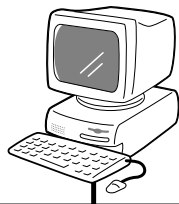
SMB(Server Message Block)は、ネットワークを通して、プリンターやファイルを共有するためのネットワークプロトコルです。Windows®では、標準でサポートされています。SMBでは、トランスポートプロトコルとしてNetBEUI、またはTCP/IPを使用できます。

ここでは、SMBを使用する場合のシステム構成と設定の流れを説明します。

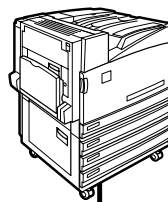
3.1.1 システム構成について

SMBは、ポートを設定して、イーサネットのネットワークにプリンターを接続した環境で動作します。トランスポートプロトコルとしてNetBEUI、またはTCP/IPを使用します。

Windows® 95, Windows® 98, Windows® Me
Windows NT® 4.0, Windows® 2000



プリンター



NetBEUIまたはTCP/IP

補足

- SMBでは、トランスポートプロトコルとしてNetBEUI、TCP/IPのどちらか、または両方を使用できます。NetBEUIを使用する場合は「3.2 プリンター側の設定(NetBEUI)」(P.48)を、TCP/IPを使用する場合は「3.3 プリンター側の設定(TCP/IP)」(P.51)を参照して、プリンターを設定してください。
- TCP/IPを使用する場合は、クライアント側、プリンター側ともにIPアドレスが必要です。
- NetBEUIを使用する場合は、クライアントに「NetBEUI」がインストールされていることを確認してください。

3.1.2 設定の流れ

Windows®ネットワーク(SMB)環境に、プリンターを設定する場合の手順を説明します。

設置手順

- ① プリンター側のポートと、トランスポートプロトコルの設定をします。

• NetBEUIを使用する場合

操作パネルで、SMBインターフェイス用のポートを【キドウ】(工場出荷時:起動)に、トランスポートプロトコルを【NetBEUI】、または【TCP/IP,NetBEUI】(工場出荷時:TCP/IP,NetBEUI)に設定します。

参照

「3.2 プリンター側の設定(NetBEUI)」(P.48)を参照してください。

補足

この設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。「CentreWare Internet Services」については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」を参照してください。

• TCP/IPを使用する場合

操作パネルで、SMBインターフェイス用のポートを【キドウ】(工場出荷時:起動)に、トランスポートプロトコルを【TCP/IP】、または【TCP/IP,NetBEUI】(工場出荷時:TCP/IP,NetBEUI)に設定します。

参照

「3.3 プリンター側の設定(TCP/IP)」(P.51)を参照してください。

補足

この設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。「CentreWare Internet Services」については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」を参照してください。

② プリンター名やワークグループ名などを変更します。

必要に応じて、SMBの設定ファイル「config.txt」を書き換え、プリンター名やワークグループ名などを変更します。設定はクライアント側から行います。

参照

「3.4 SMBの設定の変更」(P.55)を参照してください。

補足

この設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。「CentreWare Internet Services」については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」を参照してください。

③ プリンタードライバーを、クライアントにインストールします。

参照

- 「2.2.2 SMBを使用して印刷する場合」(P.30)を参照してください。
- 本機からプリンタードライバーを自動ダウンロードすることもできます。詳細については、「3.5 プリンタードライバーの自動ダウンロード」(P.60)を参照してください。

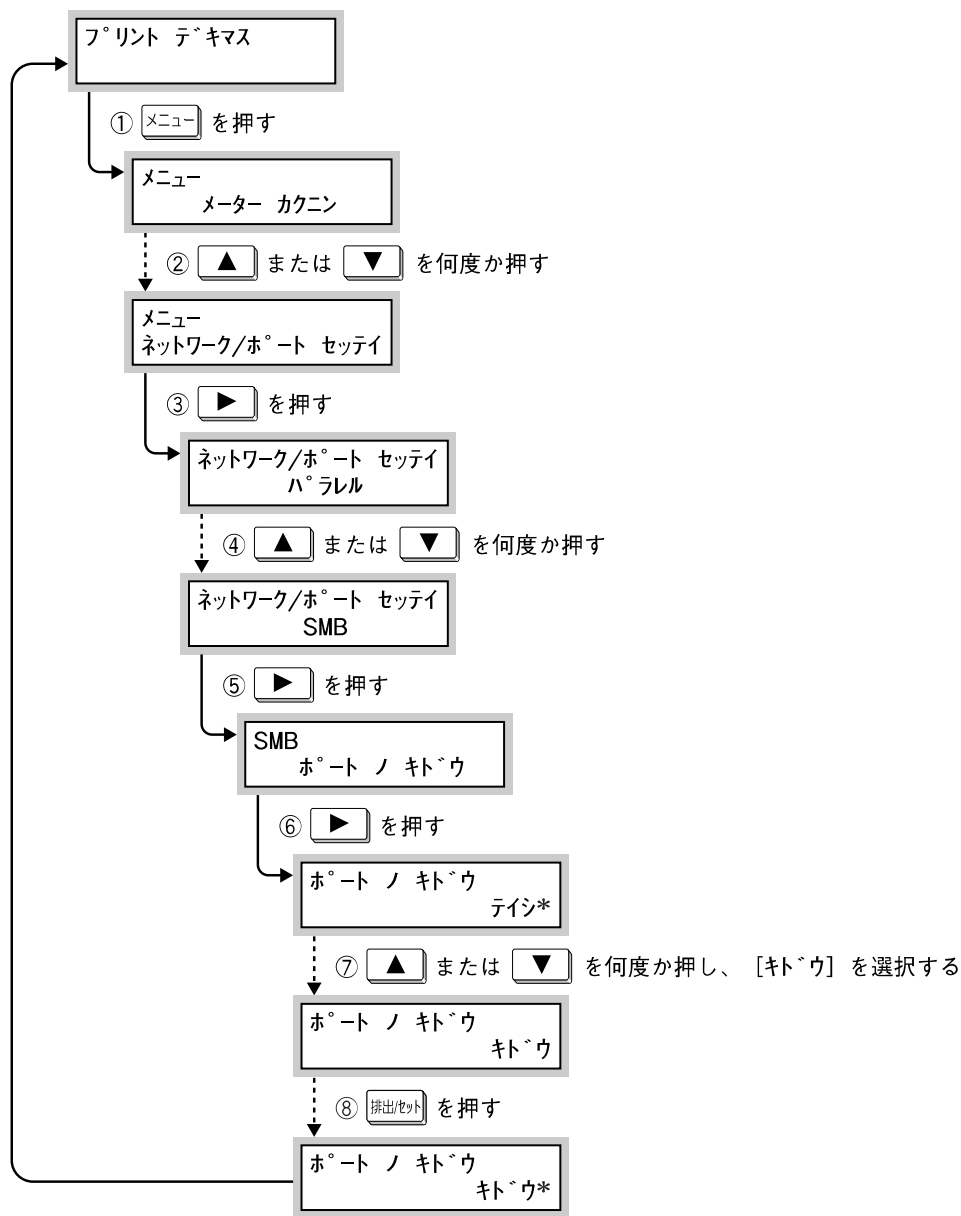
3.2 プリンター側の設定(NetBEUI)

NetBEUIを使ってSMBを使用する場合、操作パネルで以下の項目を設定します。

- SMB用のポートを【キドウ】工場出荷時:起動)に設定する
- トランスポートプロトコルを、【NetBEUI】、または【TCP/IP,NetBEUI】工場出荷時:TCP/IP,NetBEUI)に設定する

3.2.1 ポートを起動する

以下の手順に従って、操作パネルでSMBポートを起動に設定します。

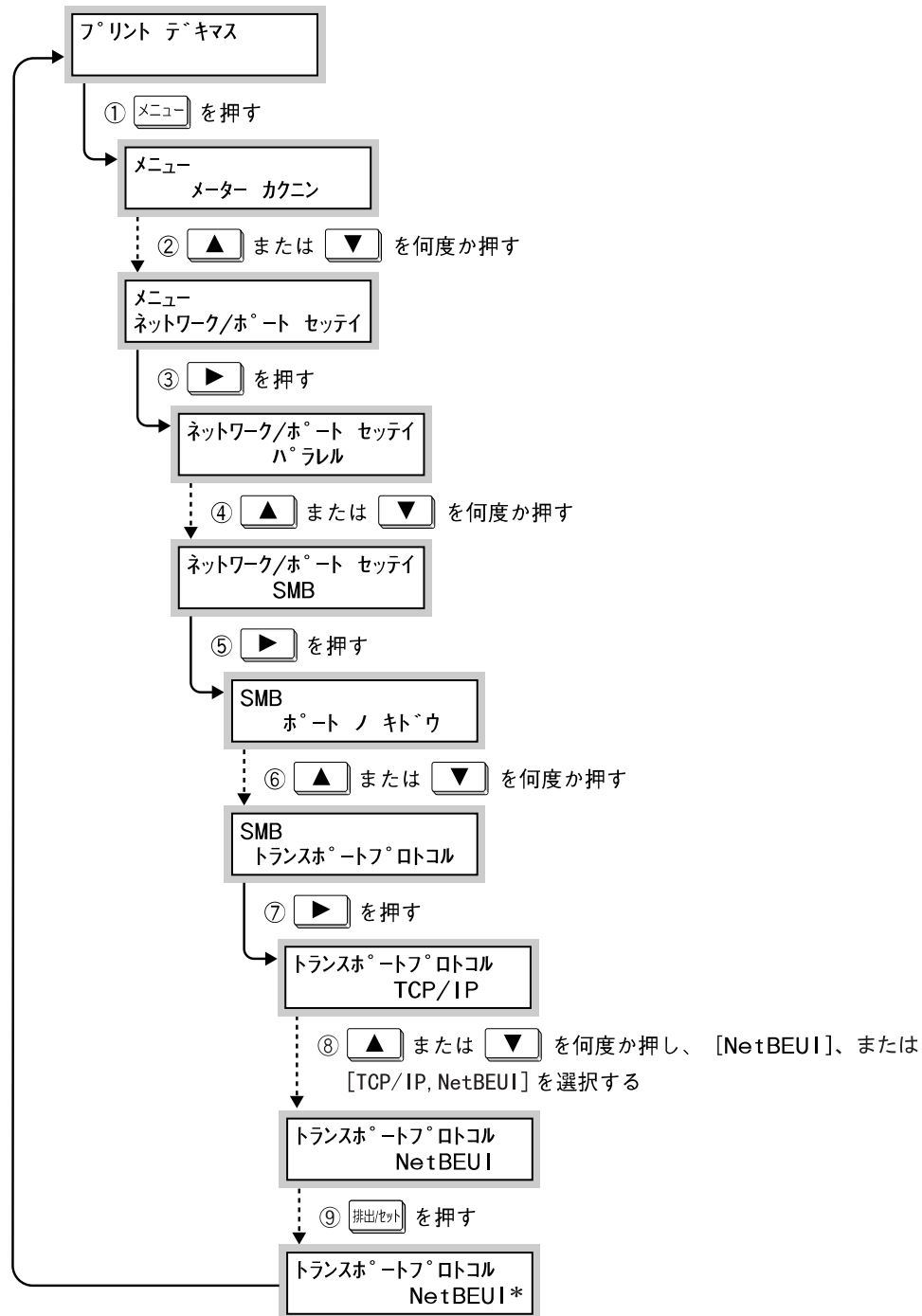


⑩ [メニュー] を押す

(電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。)

3.2.2 プロトコルを設定する

SMBポートを起動に設定したら、以下の手順に従って、操作パネルで、トランスポートプロトコルを【NetBEUI】、または【TCP/IP, NetBEUI】に設定します。



⑩ [メニュー] を押す

(電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。)

3.2.3 その他の設定項目について

必要に応じて以下の項目も設定してください。ただし、これらの項目は、通常の使用では工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

- SMBのプリントモード指定 (工場出荷時:【ジドウ】)
- SMBのJCL (工場出荷時:【ユウコウ】)
- SMBのTBCPフィルター (工場出荷時:【ムコウ】)
- SMBの受信バッファ容量 (工場出荷時:【スプールシナイ/256K】)

補足

TBCPフィルターは、オプションのPostScript®ソフトウェアキット装着時にのみ設定できません。

参照

設定項目の詳細は、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「第8章 共通メニューの設定」を参照してください。

補足

SMBの受信バッファ容量の設定は変更できます。詳細については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「8.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。

「CentreWare Internet Services」を使用すると、さらに以下の項目が設定できます。

- ワークグループ名 (工場出荷時: WORKGROUP)
- ホスト名
- 管理者名 (工場出荷時: ADMIN)
- 管理者パスワード (工場出荷時: ADMIN)
- 最大セッション数 (工場出荷時: 5)
- TBCPフィルター (工場出荷時: OFF)
- 自動ドライバーロード (工場出荷時: 有効)
- Unicodeサポート (工場出荷時: 無効)
- 自動マスターモード (工場出荷時: する)
- パスワード暗号化 (工場出荷時: する)

参照

「CentreWare Internet Services」の操作については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」を参照してください。

補足

TBCPフィルターは、オプションのPostScript®ソフトウェアキット装着時にのみ設定できません。

3.3 プリンター側の設定(TCP/IP)

TCP/IPを使ってSMBを使用する場合、操作パネルで以下の項目を設定します。

- IPアドレスを設定する(IPアドレスが設定されていない場合)
- SMB用のポートを【キドウ】(工場出荷時:起動)に設定する
- 転送プロトコルを、【TCP/IP】、または【TCP/IP,NetBEUI】(工場出荷時: TCP/IP,NetBEUI)に設定する

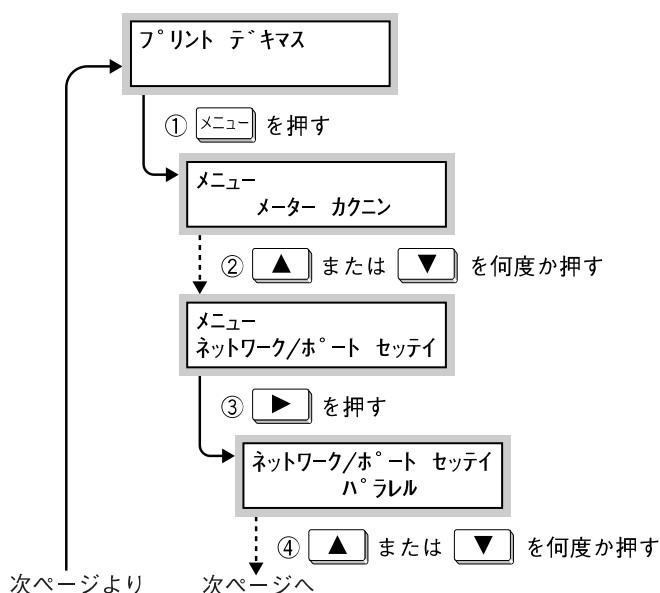
3.3.1 IPアドレスを設定する

IPアドレスの設定については、「1.4 アドレスを設定する」(P.9)を参照してください。

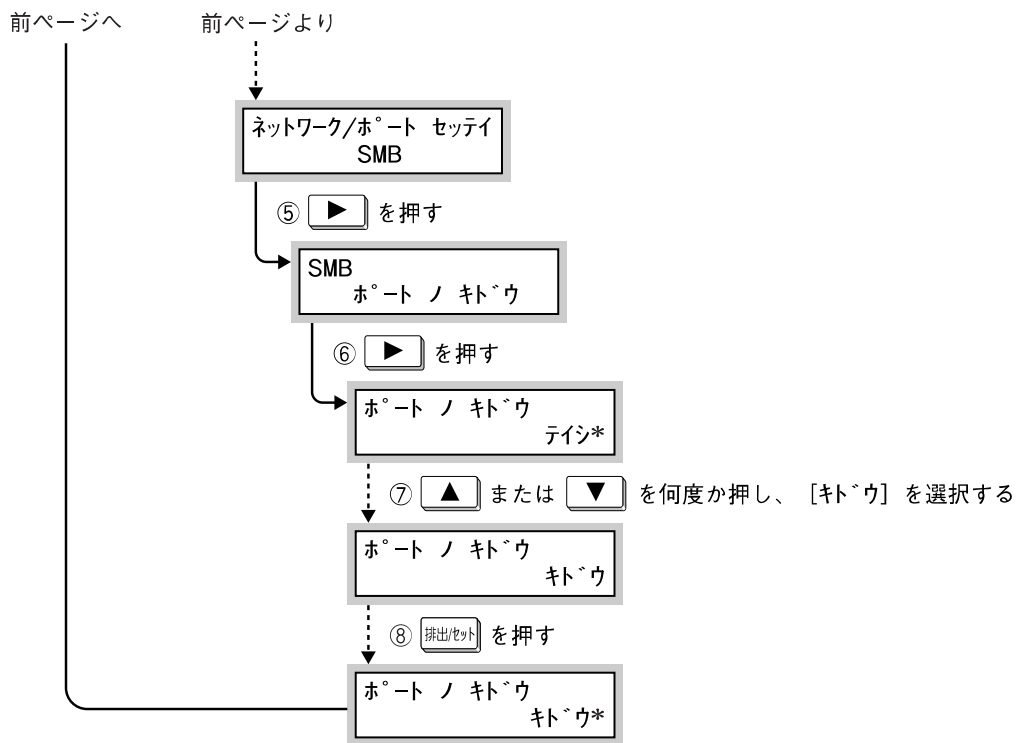
また、使用するネットワーク環境によっては、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク管理者にご相談のうえ、「1.4 アドレスを設定する」(P.9)を参照して、必要な項目を設定してください。

3.3.2 ポートを起動する

以下の手順に従って、操作パネルでSMBポートを起動に設定します。



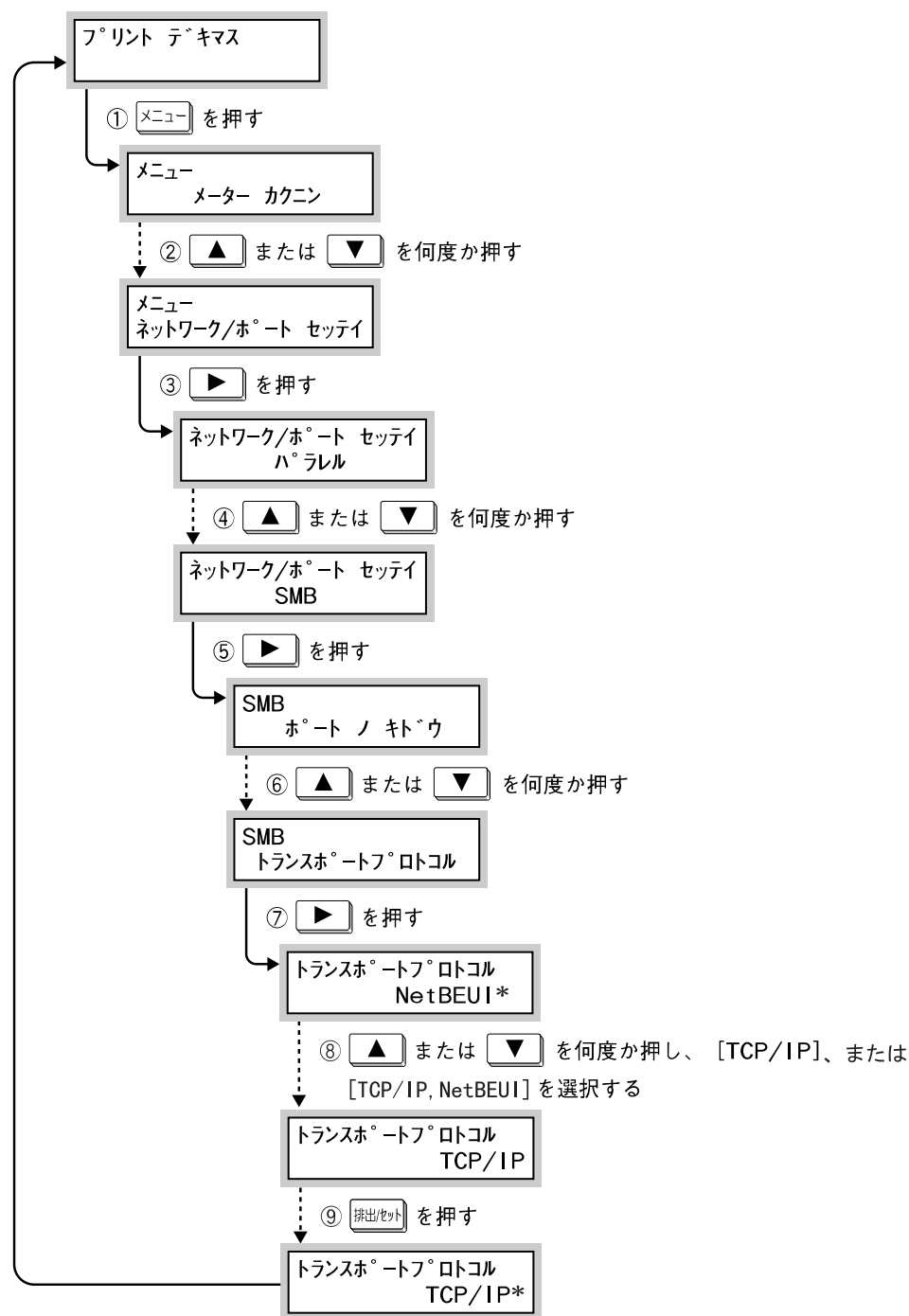
3.3 プリンター側の設定(TCP/IP)



- ⑩ を押す
(電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。)

3.3.3 プロトコルを設定する

SMBポートを起動に設定したら、以下の手順に従って、プリンターの操作パネルで、トランスポートプロトコルを【TCP/IP】、または【TCP/IP,NetBEUI】に設定します。



⑩ [メニュー] を押す

(電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。)

3.3.4 その他の設定項目について

プリンター側では、必要に応じて、その他の項目も設定してください。詳しくは、「3.2.3 その他の設定項目について」(P.50)を参照してください。

3.4 SMBの設定の変更

必要に応じて、SMBのプリンター名や、ワークグループ名などを変更できます。ただし、SMBのプリンター名やワークグループ名は、プリンターの操作パネルでは設定できません。「CentreWare Internet Services」、またはWindows®クライアントから変更します。ここでは、Windows®クライアントから変更する手順を説明します。

参照

「CentreWare Internet Services」で変更する場合は、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「5.1 クライアントからプリンターの設定をする(CentreWare Internet Services)」を参照してください。

3.4.1 Windows®ネットワーク経由の変更方法

クライアント側から、Windows®ネットワーク経由で本機上のファイルにアクセスして情報を書き換えることで、SMBの設定を変更できます。ただし、この操作ができるのは管理者だけです。

以下に、設定ファイル「config.txt」をはじめて書き換えるときの操作方法を説明します。2度め以降の手順では、すでに設定してあるSMBのプリンター名、ワークグループ名、管理者名、管理者パスワードが必要になります。

補足

「config.txt」には、管理者名に「ADMIN」、パスワードに「ADMIN」が、工場出荷時の値として登録されています。

操作手順

- 1 Windows®クライアント上で、[ネットワークコンピュータ] [プリンターの所属するワークグループ(工場出荷時は「WORKGROUP」)]、[本機]の順に開きます。

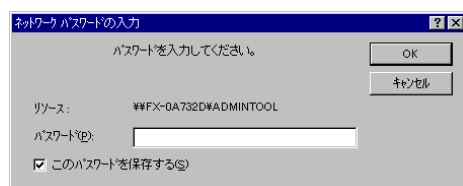
補足

本機の工場出荷時のホスト名は、「FX-xxxxxx (xxxxxx: プリンターのEthernetアドレスの下位6桁)」です。「機能設定リスト」の「SMB」の「ホスト名」で確認できます。

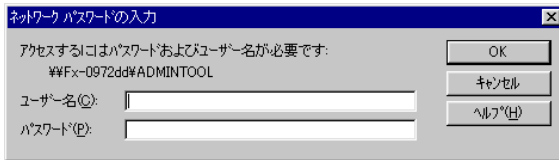
- 2 「Admintool」フォルダーをダブルクリックします。

以下のようなダイアログボックスが表示されます。

- Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合



- Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合



- Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合はパスワード(SMB管理者パスワード)のみ、Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合はユーザー名(SMB管理者名)とパスワード(SMB管理者パスワード)を入力して、[OK] をクリックします。

「Admintool」フォルダーが開きます。



補足

工場出荷時には、管理者名に「ADMIN」、パスワード「ADMIN」が登録されています。

- メモ帳などのテキストエディターを使用して、「config.txt」を開きます。
- 必要に応じて、ワークグループ名とホスト名などを変更し、「config.txt」を上書き保存して、閉じます。

「message.txt」が、「Admintool」フォルダー内に作成されます。

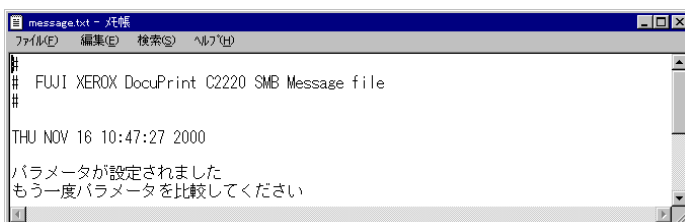
補足

- ワークグループ名、ホスト名は、最大15バイトまで設定できます。
- 「config.txt」の詳細は、後述の「config.txtの設定形式」(P.57)を参照してください。

- 「message.txt」を開いて、以下のように表示されていることを確認します。

補足

「message.txt」が表示されていない場合は、[表示]メニューの[最新の情報に更新]を選択してください。エラーメッセージが表示されている場合には、再設定をした内容の範囲などを確認してください。



- 7 「message.txt」を閉じます。
- 8 プリンターの電源スイッチを切り、5秒以上待ってから電源を入れ直します。

●●● config.txtの設定形式

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|-----------------|--|---|---|
| PrinterLanguage | 使用する言語を設定します。 | JAPANESE/ ENGLISH | JAPANESE |
| ホスト名 | プリンターのホスト名を設定します。 | 最大15バイト | FX- xxxxxx (xxxx : プ リンター のMACアド レス下位6 桁) |
| ワークグループ名 | プリンターの属するワークグループ名を設定します。 | 最大15バイト | WORKGROUP |
| NETBEUI | NetBEUIプロトコル起動の設定です。 | ON/OFF | ON |
| TCP/IP | TCP/IPプロトコル起動の設定です。 | ON/OFF | ON |
| スプール | スプール機能の起動設定です。 ハードディスク、メモリー、ノンス プールから選択できます。 ハードディスクを選択した場合で、 ハードディスクが認識できないとき は、ノンスプールになります。 | DISK/MEMORY/ OFF | OFF |
| 最大スプールサイズ | スプールモード時の最大受信容量を 設定します。256kbyte単位で設定で きます。 | 512 ~ 32768 (単位はkbyte) | 1024Kbyte |
| 最大受信サイズ | ノンスプールモード時の最大受信容 量を設定します。32Kbyte単位で設 定できます。 | 64 ~ 1024 (単位はkbyte) | 256Kbyte |
| 自動ドライバロード | プリンタードライバーの自動ダウン ロードの起動設定です。 | ON/OFF | HDDありON HDDなしOFF |
| JCL | JCLの起動設定です。 | ON/OFF | ON |
| プリントモード | プリント言語を設定します。 PS、 ART EX、HP-GL2、ダンプモード、自 動切り替えの選択が可能です。 | PS/ART EX/HP-GL2/ DUMP/AUTO (オプションの装着 状態による) | AUTO |
| 自動マスタモード | 自動ブラウズマスタ機能の起動設定 です。 | ON/OFF | ON |
| パスワード暗号化 | パスワード暗号化機能の起動設定 です。 | ON/OFF | ON |
| タイムゾーン | タイムゾーンを分単位で設します。 | -720 ~ 720 (単位は分) | 540分 (日本) |

3.4 SMBの設定の変更

| 設定項目 | 説明 | 設定値 | 初期値 |
|-------------|--|---------------|---------|
| 最大コネクション数 | プリンターの最大コネクション数です。 | 3 ~ 10 | 5 |
| ユニコード | ローカルコード(シフトJIS)を使用するかどうかを設定します。 INVALID=シフトJISです。 | INVALID/VALID | INVALID |
| DHCP | | ON/OFF | OFF |
| WINS DHCP解決 | | ON/OFF | OFF |
| IPアドレス | IPアドレスを設定します。 (DHCPが起動されているときだけ変更可能です) | | 0.0.0.0 |
| サブネットマスク | サブネットマスクを設定します。 (DHCPが起動されているときだけ変更可能です) | | 0.0.0.0 |
| ゲートウェイ | ゲートウェイアドレスを設定します。 (DHCPが起動されているときだけ変更可能です) | | 0.0.0.0 |
| WINS 1stサーバ | WINS 1stサーバを設定します。 | | 0.0.0.0 |
| WINS 2stサーバ | WINS 2stサーバを設定します。 | | 0.0.0.0 |
| 管理者名 | 管理者名です。 | 最大20バイトまで | ADMIN |
| パスワード | 管理者のパスワードです。現在の設定は表示されません。 | 最大14バイトまで | admin |
| 設置場所 | | 最大48バイト | (なし) |
| リポート | ONに設定すると、パラメーター設定ファイル「config.txt」の編集作業の終了後にプリンターがリセットされます。起動時は常にOFFです。ただし、設定に誤りがある場合は、ONでもプリンターがリセットされません。 | ON/OFF | OFF |

... config.txtの例

```

#
# FUJII XEROX DocuPrint C2220 SMB config file
#
Printer Language      : JAPANESE      : JAPANESE/ENGLISH (*)
ホスト名              : FX-0A732D   : 最大15バイト (*)
ワークグループ名     : WORKGROUP   : 最大15バイト (*)
NETBEUI              : ON          : ON or OFF (*)
TCP/IP               : ON          : ON or OFF (*)
スプール             : DISK        : DISK/MEMORY/OFF (*)
最大スプールサイズ   : 1024        : MEMORYスプールのみ有効 (512~32768Kbyte) (*)
最大受信サイズ       : 256         : スプールOFFのみ有効 (64~1024Kbyte) (*)
自動ドライバロード  : ON          : ON or OFF
JCL                  : ON          : ON or OFF
プリント モード     : AUTO        : AUTO/ART EX/
自動マスタモード     : ON          : ON or OFF (*)
パスワード暗号化    : ON          : ON or OFF (*)
タイムゾーン        : 540         : 日本(540)/英国(0)/ハワイ(-600) (min)
最大コネクション数  : 5           : 最小 3 最大 10 (*)
ユニコード          : INVALID     : INVALID(シフトJIS)/VALID (*)
DHCP                 : OFF         : ON or OFF (*)
WINS DHCP 解決      : OFF         : ON or OFF (*)
IPアドレス          : 129.249.242.181 : ex 128.0.0.1 (*) (-)
サブネットマスク    : 255.255.255.0 : ex 255.255.255.0 (*) (-)
ゲートウェイ        : 129.249.242.254 : ex 128.0.0.1 (*) (-)
WINS 1st サーバ     : 0.0.0.0      : ex 128.0.0.1 (*) (-)
WINS 2nd サーバ     : 0.0.0.0      : ex 128.0.0.1 (*) (-)
管理者名            : ADMIN        : 最大20バイト (*)
パスワード          :              : 管理者パスワード最大14バイト (*)
設置場所            :              : 最大48バイト (*)
リポート            : OFF         : ON or OFF

(*)再起動後有効
(-)DHCP起動設定時は設定無効

(*)項目を変更後リポートせずに他のツールで設定すると値が正しく
反映されない場合がありますのですみやかにリポートして下さい。

```

3.5 プリンタードライバの自動ダウンロード

Windows® 95、Windows® 98、またはWindows® Meのクライアントにプリンタードライバをインストールするときに、自動ダウンロードができるように設定できます。

補足

- Windows NT® 4.0、Windows® 2000の場合、自動ダウンロードができません。
- 自動ダウンロードには、オプションの内蔵増設ハードディスク装置が必要です。

3.5.1 自動ダウンロードの準備

自動ダウンロードができるように準備する手順を説明します。なお、この設定ができるのは管理者だけです。

操作手順

- ① Windows®クライアント上で、[ネットワークコンピュータ] [プリンターの所属するワークグループ(工場出荷時は「WORKGROUP」)]、[本機]の順に開きます。
- ② 「3.4 プリンター名やワークグループ名の変更」(P.55)を参照して、「Admintool」フォルダー内のSMBの設定ファイル「config.txt」を開き、自動ドライバロードが ON (工場出荷時:ON) に設定されていることを確認します。

```

config.txt - 元帳
ファイル 編集(E) 検索(S) ヘルプ(H)
#
# FUJI XEROX DocuPrint C2220 SMB config file
#
Printer Language      :JAPANESE      : JAPANESE/ENGLISH (*)
ホスト名              :FX-0A732D    : 最大15バイト (*)
ワークグループ名     :WORKGROUP    : 最大15バイト (*)
NETBEUI              :ON           : ON or OFF (*)
TCP/IP               :ON           : ON or OFF (*)
スプール             :DISK         : DISK/MEMORY/OFF (*)
最大スプールサイズ   :1024         : MEMORYスプールのみ有効 (512~32768Kbyte) (*)
最大受信サイズ       :256          : スプールOFFのみ有効 (64~1024Kbyte) (*)
自動ドライバロード   :ON           : ON or OFF (*)
JCL                  :ON           : ON or OFF (*)
プリント モード      :AUTO         : AUTO/ART_EX/
自動マスタモード     :ON           : ON or OFF (*)
パスワード暗号化     :ON           : ON or OFF (*)
タイムゾーン         :540          : 日本(540)/英国(0)/ハワイ(-600) (min)
最大コネクション数  :5            : 最小 3 最大 10 (*)
ユニコード           :INVALID      : INVALID(シフトJIS)/VALID (*)
DHCP                  :OFF          : ON or OFF (*)
WINS DHCP 解決       :OFF          : ON or OFF (*)
IPアドレス           :129.249.242.181: ex 128.0.0.1 (*) (-)
サブネットマスク     :255.255.255.0 : ex 255.255.255.0 (*) (-)
ゲートウェイ         :129.249.242.254: ex 128.0.0.1 (*) (-)
WINS 1st サーバ      :0.0.0.0      : ex 128.0.0.1 (*) (-)
WINS 2nd サーバ      :0.0.0.0      : ex 128.0.0.1 (*) (-)
管理者名             :ADMIN        : 最大20バイト (*)
パスワード           :              : 管理者パスワード最大14バイト (*)
設置場所             :              : 最大48バイト (*)
リポート             :OFF          : ON or OFF

(*)再起動後有効
(-)DHCP起動設定時は設定無効

(*)項目を変更後リポートせずに他のツールで設定すると値が正しく
反映されない場合がありますのですみやかにリポートして下さい。

```


- ③ 「config.txt」を閉じます。
- ④ 「drivers」フォルダーを開き、その中に新しくフォルダーを作成します。作成するフォルダーの名称は、任意の半角英数字で8文字までです。フォルダーは2階層まで作成できます。
ここでは、「Win95」というフォルダーを作成します。



- ⑤ 同梱されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、[CD-ROMの参照]をクリックします。



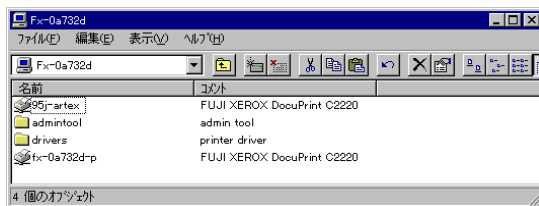
補足

Windows®の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、CD-ROM内の「Launch.exe」を実行してください。

- ⑥ CD-ROM内にあるPlwフォルダーに格納されている、「Win95」(Windows® 95の場合)、または「Win98」(Windows® 98、Windows® Meの場合)フォルダーを開き、手順④で新しく作成したフォルダー内にコピーします。「drivers」フォルダーを閉じます。

3.5 プリンタードライバーの自動ダウンロード

- ⑦ 本機の電源を切り、5秒以上待ってから電源を入れ直します。
- ⑧ [ネットワークコンピュータ] [プリンターの所属するワークグループ (工場出荷時は「WORKGROUP」)]、[本機]の順に開きます。Windows® 95の場合は「95j-artex」、Windows® 98、またはWindows® Meの場合は「98_mej-artex」という名称のプリンターアイコンが追加されていることを確認します。



以上で、プリンタードライバーの自動ダウンロードの準備は終了です。

3.5.2 プリンタードライバーを自動ダウンロードする

プリンタードライバーの自動ダウンロードを使用して、クライアントにプリンタードライバーをインストールする手順を説明します。ここでは、Windows® 95にART EXプリンタードライバーを追加する例で説明します。

補足

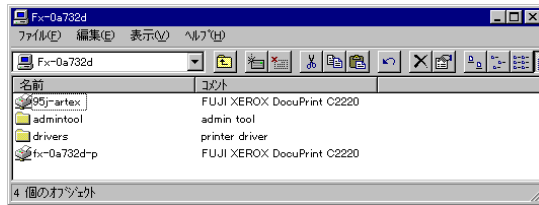
ワークグループ名とプリンター名がわからないときは、プリンターの管理者にお尋ねください。

操作方法

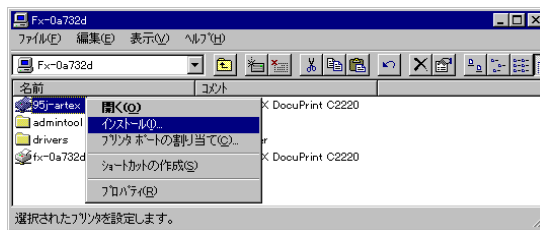
- ① Windows®クライアント上で、[ネットワークコンピュータ] [プリンターの所属するワークグループ]、[本機](この例ではfx-0a732d-p)の順に開きます。

補足

工場出荷時には、ワークグループ名に「WORKGROUP」、ホスト名に「FX-xxxxxx」(xxxxxx: プリンターのEthernetアドレスの下位6桁)が設定されています。現在の設定は、本機の管理者にお尋ねください。



- ② Windows® 95の場合は「95-j-artex」、Windows® 98、またはWindows® Meの場合は「98_mej-artex」を選択して、右クリックして表示されるメニューから「インストール」を選択します。



- ③ MS-DOSアプリケーションから印刷する場合は「はい(Y)」を、しない場合は「いいえ(N)」を選択して、「次へ(N)」をクリックします。



- ④ 表示されているプリンター名を変更する場合は、「プリンタ名」に任意の名前を入力します。

3.5 プリンタードライバーの自動ダウンロード



- 5 本機を通常使用するプリンターにする場合は[はい]を、通常使用するプリンターにしない場合は[いいえ]指定し、[次へ]をクリックします。
- 6 インストール後、テストページを印刷するかどうかを指定します。[はい (推奨)]を指定した場合は、本機にA4の用紙をセットし、[完了]をクリックします。



ドライバーのインストールが始まります。

- 7 手順 6でテストページの印刷について、[はい (推奨)]を選択した場合は、確認のダイアログボックスが表示されます。テストページが印刷されたことを確認して、[はい]を選択します。
「プリンタ」ウィンドウに新しいプリンターアイコンが表示され、本機が使用できる状態になります。
続いて、本機に装着されているオプションの設定をします。
- 8 インストールしたプリンターアイコンのメニューから、[プロパティ]を選択します。
- 9 表示されたプリンターのプロパティダイアログボックスの[プリンタ構成]タブをクリックします。該当するオプションのチェックボックスをオンにします。



●● オプションについて

オフセット排出トレイ

オフセット排出トレイを装着している場合、チェックボックスをオンにします。

内蔵ハードディスク

内蔵増設ハードディスク装置を装着している場合、チェックボックスをオンにします。

両面ユニット

両面印刷機能付きの場合、チェックボックスをオンにします。

メモリー容量160MB以上

本機のメモリー総容量が160MByte以上ある場合、チェックボックスをオンにします。

給紙トレイキャビネット

装着されている給紙トレイキャビネットに合わせて、[1トレイユニット] [3トレイユニット] [3トレイユニット(大容量)]から、該当するチェックボックスをオンにします。

補足

装着しているオプションについては、「機能設定リスト」を印刷して確認してください。「機能設定リスト」の印刷方法については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「6.3 レポート/リストを印刷する」を参照してください。

- ⑩ [OK] をクリックし、終了します。

共有プリンターの 設定について

4章

- 4.1 プリンターを共有に設定する 68
- 4.2 プリンタネームサービスをインストールする 70

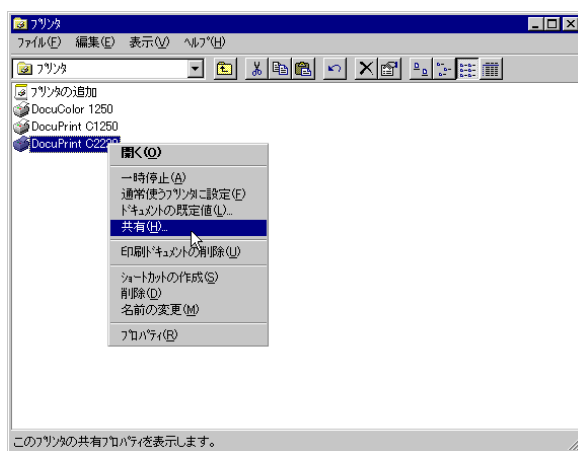
4.1 プリンターを共有に設定する

ネットワーク上のWindows NT® 4.0、またはWindows® 2000クライアントなどにインストールしたプリンターを共有に設定できます。共有プリンターに設定すると、ネットワーク上のほかのWindows NT® 4.0、Windows® 2000クライアントや、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントからも印刷できます。また、各クライアントは、プリンタードライバーをネットワーク経由でインストールできるようになります。

共有プリンターの設定は、プリンタードライバーのインストールが完了したときの画面からできます。[共有]を押して、プリンターを共有に設定します。

操作手順

- ① [スタート]メニューの[設定]から、[プリンタ]をクリックします。
- ② 印刷に使用するプリンターのアイコンを選択して、右クリックします。
- ③ ポップアップメニューから[共有]を選択します。



- ④ [共有する]を選択して、任意の共有名を入力します。
- ⑤ [代替ドライバ]一覧(Windows® 2000の場合は[追加ドライバ])で、インストールするプリンタードライバーを選択します。

- ⑥ [OK]をクリックします。
代替ドライバーをインストールするときは、プリンタードライバーのファイルの場所を入力する画面が表示されます。そのときは、本機に付属のCD-ROMをセットして、プリンタードライバーの入っているフォルダーを指定してください。

補足

Windows NT® 4.0の場合、代替ドライバーの機能を利用するには、Windows NT® 4.0にService Pack 5以降をインストールする必要があります。

続いて、プリンタネームサービスをインストールします。

4.2 プリンタネームサービスをインストールする

ネットワーク上のWindows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントから、共有プリンターを使用する場合は、同じドメイン、またはワークグループ内のWindows NT® 4.0、またはWindows® 2000クライアントに、弊社製の「プリンタネームサービス」をインストールします。「プリンタネームサービス」は、必ずWindows NT® 4.0、またはWindows® 2000にインストールしてください。Windows® 95、Windows® 98、またはWindows® Meにはインストールできません。

また必ず管理者の権限を持ったユーザーが、インストールしてください。

Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントは、lpr接続された共有プリンターのポート/キュー情報を自動で取得できます。

操作手順

- ① 同梱されているCD-ROMを、お使いのコンピューターのCD-ROMドライブにセットします。
インストールメニューが起動します。



補足

Windows®の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、CD-ROM内の「Launch.exe」を実行してください。

- ② [管理者ツール] をクリックします。
管理者ツールメニュー画面が表示されます。



- ③ [ネットワークサービス補助ツール] をクリックします。
プリンタネームサービスのセットアッププログラムが起動し、以下の画面が表示されます。



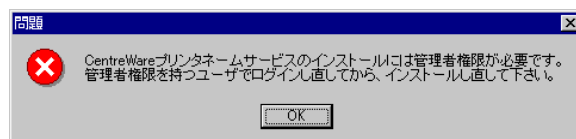
補足

インストーラーが、OSと管理者権限をチェックします。使っているOSがWindows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合、またはインストールするユーザーに管理者権限がない場合、下図のようなエラー画面が表示されます。

- Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meの場合



- 管理者権限がない場合



4.2 プリンタネームサービスをインストールする

- ④ [次へ] をクリックします。
はじめてインストールする場合は手順 ⑥に、すでにプリンタネームサービスがインストールされている場合は、手順 ⑤に進みます。

セットアップオプション画面が表示されます。

- ⑤ [上書きインストール] をクリックします。

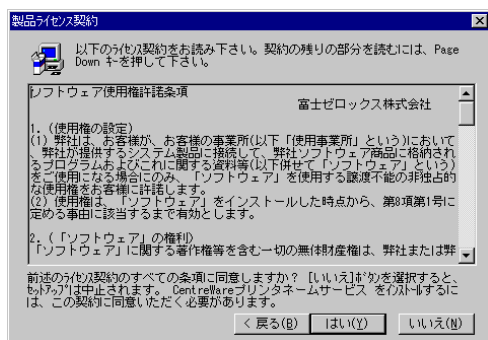
補足

- プリンタネームサービスがインストールされていない場合は、この画面は表示されません。
- [上書きインストール] を選択する場合は、あらかじめプリンタネームサービスを停止してください。



[製品ライセンス契約] 画面が表示されます。

- ⑥ 内容を確認して、同意する場合は、[はい] をクリックします。



[セットアップオプション] 画面が表示されます。

はじめてプリンタネームサービスをインストールする場合は、手順 ⑦に進みます。手順 ⑤で[上書きインストール]を選択した場合は、手順 ⑩に進みます。

- 7 [名前]と[会社名]を入力し、[次へ]をクリックします。

補足

すでにプリンタネームサービスがインストールされている場合は、この画面は表示されません。



[登録確認]ダイアログボックスが表示されます。

- 8 内容を確認し、[はい]をクリックします。

補足

[いいえ]をクリックすると、[ユーザーの情報]画面に戻ります。



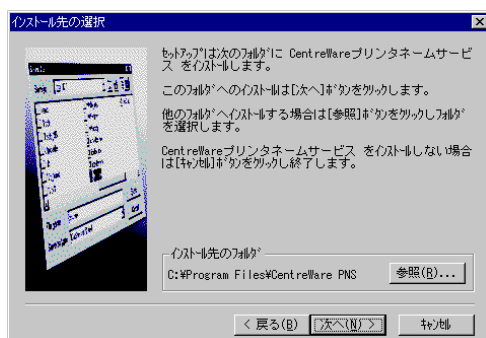
[インストール先の選択]画面が表示されます。

4.2 プリンタネームサービスをインストールする

- 9 [インストール先のフォルダ]を確認して、[次へ]をクリックします。変更する場合は、[参照]をクリックして、[ディレクトリの選択]ダイアログボックスで指定します。

補足

- すでにプリンタネームサービスがインストールされている場合は、この画面は表示されません。
- CentreWare本体がインストールされているディレクトリーには、インストールできません。また、CentreWare本体がインストールされていない場合、x:%Program Files%CentreWareにはインストールできません(「x:」は、Windowsがインストールされているディレクトリです)。



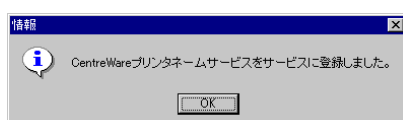
[ファイルコピーの開始]画面が表示されます。

- 10 [現在の設定]に表示されている内容を確認して、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。



インストールが終了すると、サービスに登録されたことを知らせる画面が表示されます。

- 11 [OK]をクリックします。



[セットアップの完了]画面が表示されます。

- ⑫ 製品情報を読む場合は、[はい、製品情報を読みます。]をオンにします。サービスに登録されたことを確認する場合は、[はい、コントロールパネルを開きます。]をオンにします。
[完了]をクリックすると、インストールが終了します。CD-ROMを取り出してください。



これで、共有プリンターの設定は完了です。ほかのコンピューターにプリンタードライバーをインストールするときは、プリンタウィザードのプリンターの接続先を選択する画面で、[ネットワークプリンタ]を選択してプリンターを選択してください。

NetWare®環境での設定

5章

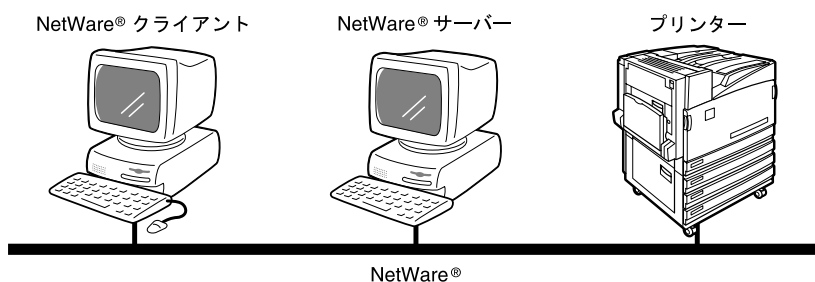
| | | |
|-------|---------------------------|----|
| 5.1 | 概要 | 78 |
| 5.1.1 | システム構成について | 78 |
| 5.1.2 | コンピュータ環境 | 78 |
| 5.1.3 | インターフェイス | 79 |
| 5.1.4 | 設定の流れ | 80 |
| 5.2 | 管理者用の設定ツールを使用してプリンターを設定する | 81 |
| 5.2.1 | バイナリ接続の場合 | 81 |
| 5.2.2 | NDS接続の場合 | 86 |
| 5.2.3 | その他の設定項目について | 90 |

5.1 概要

ここでは、本機をNovell社製NetWare®のネットワークに接続した場合の、動作環境および設定手順について説明します。

5.1.1 システム構成について

システム構成は、以下のとおりです。



本機は、NetWare® 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1までの各バージョンに対応し、バインダリおよびNDS(4.11J以上)でプリントサーバー(PServer)モードだけをサポートしています。

プリントサーバーモードでは、プリンター自身がプリントサーバーとして動作し、プリントキューにあるジョブを取り出して印刷します。本機は、ファイルサーバーのユーザーライセンスを1つ消費します。

TCP/IP、IPX/SPXのどちらか、または両方を使用できます。

注記

リモートプリンター(RPrinter)モードはサポートしていません。

5.1.2 コンピューター環境

NetWare®ネットワークを使用して印刷する場合の環境は、次のとおりです。

- 適応するファイルサーバー
 - Novell NetWare® 3.12J/3.2J/4.11J/4.2/5/5.1
 - 適応するクライアントOS
 - Microsoft® Windows® 95 Operating System日本語版(Service Pack 1以上*)
 - Microsoft® Windows® 98 Operating System日本語版
 - Microsoft® Windows® Me Operating System日本語版
 - Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0日本語版(Service Pack 4以上)
 - Microsoft® Windows® 2000 Professional日本語版(Service Pack 1以上)
- *Microsoft Internet Explorer4.0以上が必要です。

- 適応するNetWareクライアント
 - <Windows® 95、Windows® 98の場合>
 - Novell Client for Windows® 95、Windows® 98 ver3.1、ver3.21
 - NetWareネットワーククライアント
 - <Windows NT® 4.0の場合>
 - Novell Client for Windows NT® 4.0 ver4.6
 - Novell Client for Windows NT/2000 ver4.71
 - <Windows® 2000の場合>
 - Novell Client for Windows NT/2000 ver4.71
 - <Windows® Meの場合>
 - Microsoft Netware Client

5.1.3 インターフェイス

サポートするフレームタイプは、次のとおりです。

- Ethernet 仕様
- IEEE802.3仕様
- IEEE802.3/802.2仕様
- IEEE802.3/802.2/SNAP仕様

IPX/SPXの場合、本機は、接続されているネットワーク上に各フレームタイプのパケットを送出し、最初に応答したフレームタイプで自動的に起動します。(工場出荷時の場合)

ただし、同一ネットワーク上にほかのプロトコルが同時に存在する場合は、Ethernet を使用してください。

TCP/IPの場合、自動的にEthernet が起動します。

補足

ネットワーク構成機器(HUBなど)が、フレームタイプの自動設定に適合していない場合があります。ネットワーク構成機器の、本機が接続されたポートのデータリンクランプが点灯しない場合は、本機のフレームタイプの設定(IPX/SPX設定)を、NetWareサーバーのフレームタイプに合わせてください。設定方法については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「第8章 共通メニューの設定」を参照してください。

5.1.4 設定の流れ

- ① 『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「6.3 レポート/リストを印刷する」を参照して、機能設定リストを印刷します。
「機能設定リスト」で、ネットワークアドレスと、装置名を確認してください。
- ② CentreWareからNetWareのプリンターを検索するために、NetWareで使用するトランスポートプロトコルと同じSNMPのトランスポートプロトコルを起動します。

- ③ CentreWareドライバー&ネットワークユーティリティのCD-ROMを使用して本機を設定します。

CentreWareドライバー&ネットワークユーティリティのCD-ROMを使用すると、あらかじめ本機側でNetWareポートを起動に設定しておく必要はありません。

参照

「5.2 管理者用の設定ツールを使用してプリンターを設定する」(P.81)を参照してください。

補足

- ファイルサーバーの設定は、「PCONSOLE」または「NWADMIN」でもできます。詳しくは、NetWare®に付属のマニュアルを参照してください。
- プリンターの設定は、「CentreWare Internet Services」でもできます。詳細については、「5.2.3 その他の設定項目について」(P.90)を参照してください。

- ④ プリンタードライバーをインストールします。

本機に対応したプリンタードライバーを、コンピューターにインストールします。プリンタードライバーは、使用するOSによって異なります。

参照

「第2章 プリンタードライバーのインストール」(P.21)を参照してください。

5.2 管理者用の設定ツールを使用してプリンターを設定する

同梱されているCD-ROMの管理者用の設定ツールを使用して、NetWare®の印刷環境を構築します。この作業は、NetWare®サーバーに、バインダリ接続しているかNDS接続しているかによって異なります。

NetWare® 5で、NDPSで印刷する場合は、NetWare®に付属のマニュアルを参照してください。

参照

NDPSでIpdポートを使用する場合には、ポートとIPアドレスを設定する必要があります。設定方法については、「1.5 ポートを設定する」(P.14)、「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)を参照してください。

5.2.1 バインダリ接続の場合

操作手順

- 1 対象のNetWare®サーバーに、管理者の権限を持つユーザーでログインします。
- 2 CentreWareドライバー&ネットワークユーティリティのCD-ROMを、お使いのCD-ROMドライブにセットします。
インストールメニューが起動します。
- 3 [管理者ツール] をクリックします。

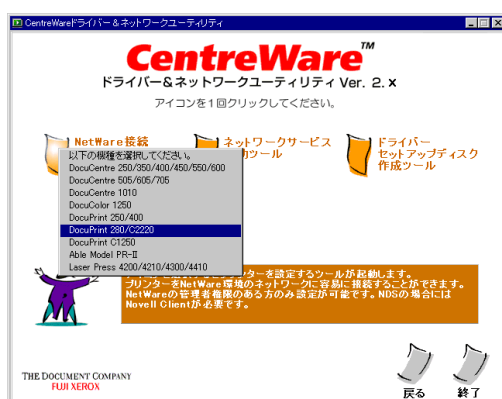


補足

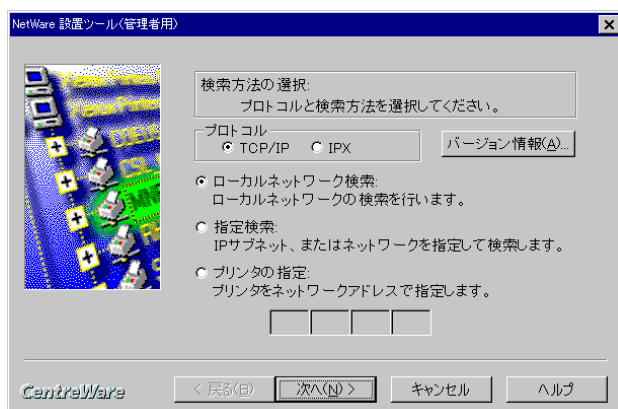
Windows®の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、CD-ROM内の「Launch.exe」を実行してください。

5.2 管理者用の設定ツールを使用してプリンターを設定する

- ④ [NetWare接続 プリンターの設定] をクリックし、DocuPrint C2220を選択します。



- ⑤ [プロトコル] の [TCP/IP]、または [IPX] を選択します。



補足

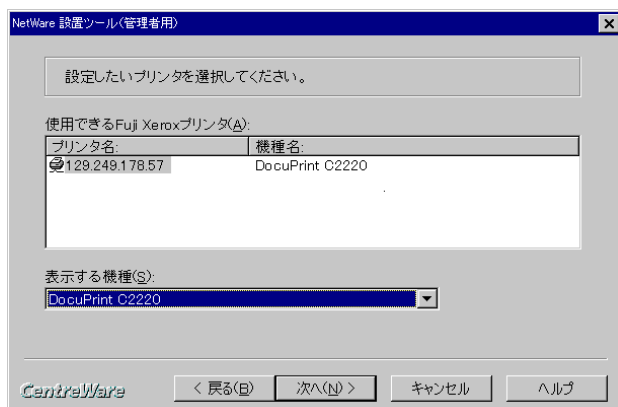
本機にIPアドレスが設定されている場合は、[TCP/IP] を選択できます。

- ⑥ 必要に応じて検索方法を選択して、[次へ] をクリックします。
ここでは、[ローカルネットワーク検索] を選択します。

補足

- [ローカルネットワーク検索] を選択した場合は、検索されたプリンターが表示されます。
- [TCP/IP] と [指定検索] を選択した場合は、サブネットを指定する画面が表示されます。
- [IPX] と [指定検索] を選択した場合は、ネットワーク番号を指定する画面が表示されます。
- [プリンタの指定] を選択してアドレスを指定した場合は、手順 ⑦ の画面は表示されず、NetWare®の接続タイプを選択する画面が表示されます。

- ⑦ 「機能設定リスト」でネットワークアドレスを確認し、[使用できるFuji Xeroxプリンタ]の一覧からプリンターを選択します。
[次へ]をクリックします。

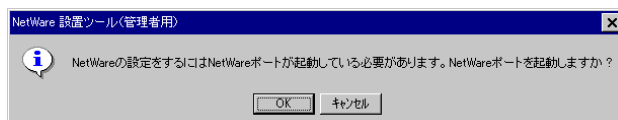


NetWare®ポートを起動にする確認画面が表示されます。

補足

工場出荷時の状態では、本機のNetWare®ポートは【テイシ】に設定されています。NetWare®ポートが【キドウ】に設定されている場合、手順 ⑧の画面は表示されません。

- ⑧ [OK]をクリックします。



NetWare®の接続タイプを選択する画面が表示されます。

- ⑨ [NetWare接続タイプ]で [バインダリ] を選択します。
[次へ]をクリックします。



5.2 管理者用の設定ツールを使用してプリンターを設定する

プリンター名を入力する画面が表示されます。



補足

本機にバイナリ接続の設定がされていない場合は、プライマリサーバーを選択する画面が表示されます。プライマリサーバーを選択して、[次へ]をクリックします。ログイン画面が表示されるので、管理者の権限を持ったユーザーでログインします。

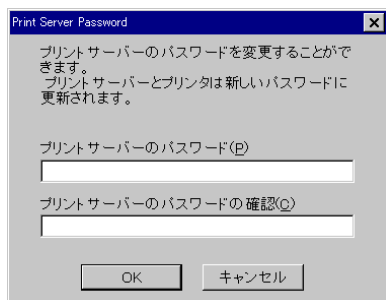
- 10 [プリンタ名]に任意のプリンター名を入力し、[次へ]をクリックします。



キューを設定する画面が表示されます。

補足

[プリントサーバーのパスワード]をクリックすると、プリントサーバーにパスワードを付けることができます。必要に応じて設定してください。



- ⑪ キュー名を設定します。
 キューを作成する[サーバー]を選択し、[キュー名]に任意のキュー名を入力します。
 [次へ]をクリックします。

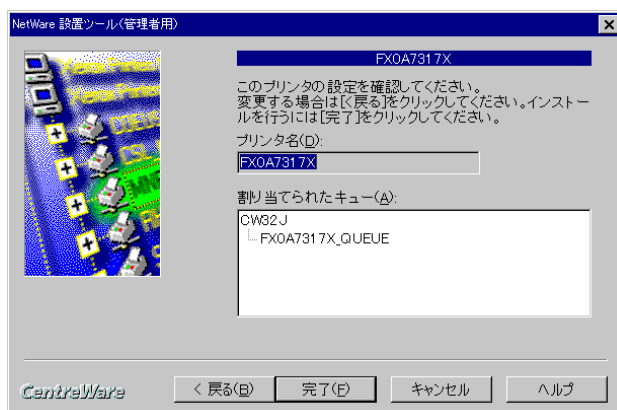


設定内容を確認する画面が表示されます。

補足

- [キュー名]には、「プリンター名_QUEUE」というキュー名がデフォルトで表示されます。
- [既存のキューを割り当てる]を選択した場合は、キューを割り当てる画面が表示されるので、作成済みのキューを割り当てます。

- ⑫ 設定内容を確認し、[完了]をクリックします。



設定内容が、NetWare®サーバーと本機に反映されます。設定が成功すると、設定が完了したことを知らせる画面が表示されます。

- ⑬ [閉じる]をクリックします。
 設定が完了します。

5.2.2 NDS接続の場合

操作手順

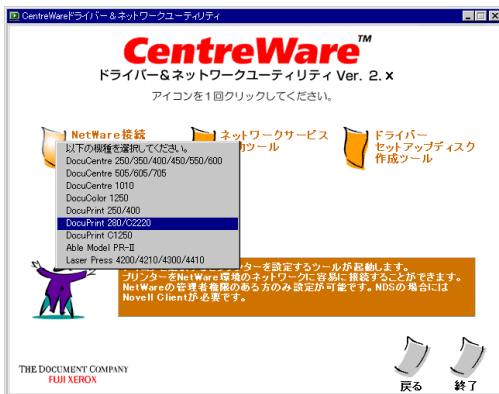
- ① 対象のツリーとコンテキストに、管理者の権限を持つユーザーでログインします。
- ② CentreWareドライバー&ネットワークユーティリティのCD-ROMを、お使いのCD-ROMドライブにセットします。
インストールメニューが起動します。
- ③ [管理者ツール] をクリックします。



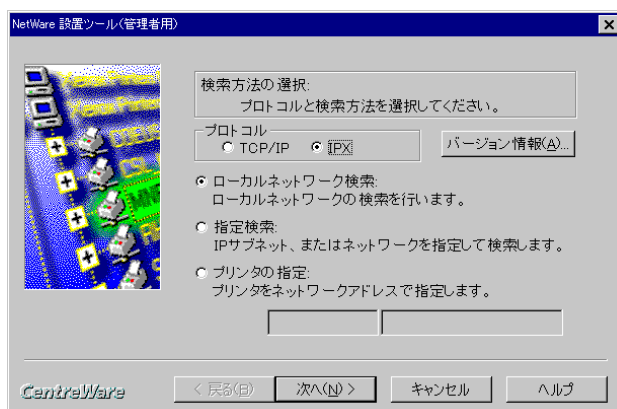
補足

Windows®の設定によっては、インストールメニューが自動的に起動しません。その場合は、CD-ROM内の「Launch.exe」を実行してください。

- ④ [NetWare接続 プリンターの設定] をクリックし、DocuPrint C2220を選択します。



5 [プロトコル]の[TCP/IP] または[IPX]を選択します。



補足

本機にIPアドレスが設定されている場合は、[TCP/IP]を選択できます。

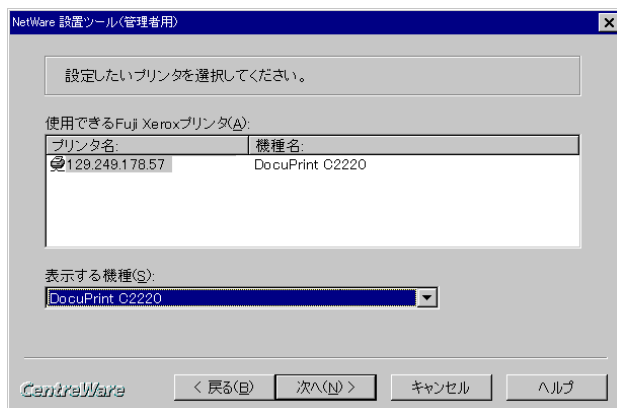
6 必要に応じて検索方法を選択して、[次へ]をクリックします。

ここでは、[ローカルネットワーク検索]を選択します。

補足

- [ローカルネットワーク検索]を選択した場合は、検索されたプリンターが表示されます。
- [TCP/IP]と[指定検索]を選択した場合は、サブネットを指定する画面が表示されます。
- [IPX]と[指定検索]を選択した場合は、ネットワーク番号を指定する画面が表示されます。
- [プリンタの指定]を選択してIPアドレスを指定した場合は、手順 7 の画面は表示されず、NetWare®の接続タイプを選択する画面が表示されます。

7 機能設定リストでネットワークアドレスを確認し、[使用できるFuji Xeroxプリンタ]の一覧からプリンターを選択します。
[次へ]をクリックします。



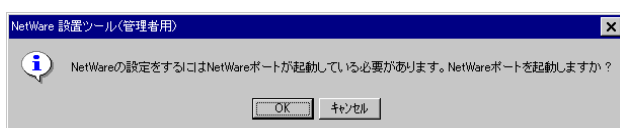
5.2 管理者用の設定ツールを使用してプリンターを設定する

NetWare®ポートを起動にする確認画面が表示されます。

補足

工場出荷時の状態では、本機のNetWare®ポートは【テイシ】に設定されています。NetWare®ポートが【キドウ】に設定されている場合、手順 ⑧の画面は表示されません。

- ⑧ [OK]をクリックします。



NetWare®の接続タイプを選択する画面が表示されます。

- ⑨ [NetWare接続タイプ]で [NDS]を選択します。
[次へ]をクリックします。



ツリーとコンテキストを選択する画面が表示されます。

- ⑩ [NDSツリー]でツリーを、[コンテキスト]でコンテキストを選択します。
[次へ]をクリックします。



プリンター名を入力する画面が表示されます。

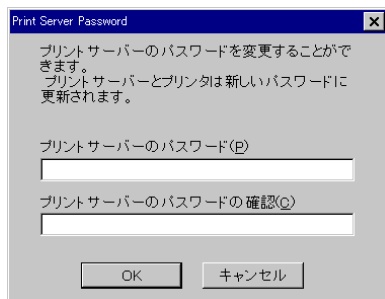
- ⑪ [プリンタ名]に任意のプリンター名を入力し、[次へ]をクリックします。



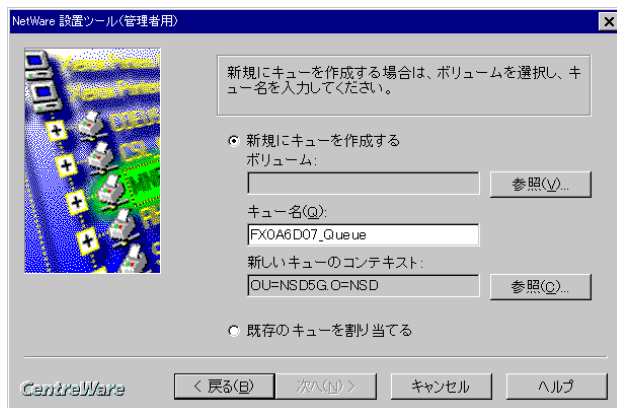
キューを設定する画面が表示されます。

補足

[プリントサーバーのパスワード]をクリックすると、プリントサーバーにパスワードを付けることができます。必要に応じて設定してください。



- ⑫ キュー名を設定します。
[ボリューム] [キュー名] [新しいキューのコンテキスト]を入力します。
[次へ]をクリックします。



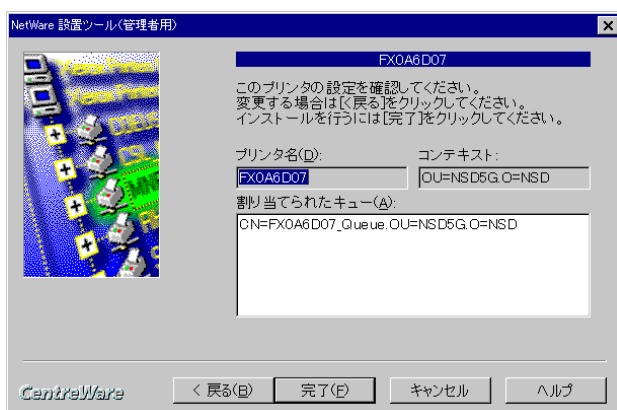
5.2 管理者用の設定ツールを使用してプリンターを設定する

設定内容を確認する画面が表示されます。

補足

- [キュー名]には、「プリンター名_QUEUE」というキュー名が、初期値として表示されます。
- [既存のキューを割り当てる]を選択した場合は、キューを割り当てる画面が表示されるので、作成済みのキューを割り当てます。

13 設定内容を確認し、[完了]をクリックします。



設定内容が、NetWare®サーバーと本機に反映されます。設定が成功すると、設定が完了したことを知らせる画面が表示されます。

14 [閉じる]をクリックします。

設定が完了します。

5.2.3 その他の設定項目について

必要に応じて以下の項目も設定してください。ただし、これらの項目は、通常の使用では工場出荷時の設定を変更する必要はありません。

- プリントモード指定 (工場出荷時:【自動切り替え】)
- JCLスイッチ (工場出荷時:【有効】)
- NetWare受信バッファ (工場出荷時:【256KB】)
- トランスポートプロトコル (工場出荷時:【TCP/IP、IPX/SPX】)
- NetWareの受信バッファ (工場出荷時:【256K】)

参照

設定項目の詳細は、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「第8章 共通メニューの設定」を参照してください。

5.2 管理者用の設定ツールを使用してプリンターを設定する

CentreWare Internet Servicesを使用して、さらに以下の項目を設定できます。

- 装置名 (工場出荷時: FXxxxxxx)
- 動作モード (工場出荷時: ディレクトリ-PServerモード)
- ツリー名
- コンテキスト名
- ファイルサーバー名
- 通知言語 (工場出荷時: 日本語)
- キュー探索間隔 (工場出荷時: 4秒)
- サーバーの検索回数 (工場出荷時: 上限なし)
- パスワード
- フレームタイプ (工場出荷時: 自動)
- アクティブディスカバリー (工場出荷時: 有効)
- TBCPフィルター (工場出荷時: OFF)

参照

CentreWare Internet Servicesの操作については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「第5章 便利なツールを使用する」を参照してください。

補足

TBCPフィルターは、オプションのPostScript®ソフトウェアキット装着時にのみ設定できます。

注記

コンテキスト名は、以下の形式のようにタイプ付きで入力してください。
OU=部門名.O=組織名.C=カントリ名

